

シヤル安定度、ホイールトラッキング試験による動的安定度、水浸ホイールトラッキング試験による剥離率は、それぞれFA技術を適用しない通常の合材と同等で、FA技術の適用によって合材の性状を損なうことなく、締め固め度や作業性の向上に寄与する。

FA混合物は、従来の品質を損なうことなく、冬の施工や長距離運搬に対応するのを始め、人力施工となる少量

施工や狭あい部などの施工性を改善する。また、再生混合物の品質確保（繰り返し再生への対応）、合材サイロでの長期保存可能といった特長を備えており、舗装材リサイクルの再活性化、材料ロスの低減を実現する。

さらに、製造温度の30度低減で約2・3割のCO₂排出量を低減するほか、アスファルトヒューム（蒸気）の抑制が可能となり、より一層地球環境保全に貢献する。

フォームド機能を統合

全国主要プラントに展開

大林道路ら

大林道路は、田中鉄工（佐賀県基山町、古賀武志社長）と共同で、フォームド装置の機能をアスファルトプラント操作盤に統合した。大分県大分市の大分センターアスコン（大林道路・日伸建設工業J

合物が、一般的なアスファルト混合物と同じ手順で製造が可能となる。アスファルト計量値との連動機能で添加量を高精度化でき、添加量の記録、作動状態確認計器の追加で品質確保を図れる。さらに、配管の改善とノズル詰まり防止構造による省メンテナンス化も可能となる。

FA技術は、加熱アスファルトに水または水蒸気、あるいは発泡剤などの特殊添加剤を混合して発泡させ、体積を増加させるとともに、見掛けの粘度を低下させるもの。ア

スファルト混合物の混合性や作業性の向上、製造・施工温度の低減に寄与する。混合物運搬時の温度低下による合材塊発生の抑制、施工性の向上、合材サイロ内における混合物塊発生の抑制、混合温度の低減が期待できる。

同社のFA技術は、水を添加するだけで十分な施工性の改善を図ることができると、め、合材単価への影響はなるべく高まりつつあるFA技術を使ったニーズに応えるものとなる。

FA合材の性状では、マー

